

家族みんなで取り組もう！家庭でできる感染症予防

寒い季節を中心に、インフルエンザや感染性胃腸炎など、さまざまな感染症が流行します。家族みんなが元気に過ごせるよう、家庭でできる感染症予防に取り組みましょう。

①丁寧な手洗い

手には、目に見えないウイルスや細菌が付着していることがあります。外出後や食事の前、トイレの後などは、石けんと流水で30秒以上丁寧に手を洗うことが大切です。



②こまめな換気

窓を開けるなどして、室内の空気を入れ替えましょう。寒い時期も無理のない範囲でこまめに換気することが大切です。複数の窓を開けると空気の通り道ができ、効率よく換気できます。

③咳エチケット

咳やくしゃみなどの症状があるときは、周囲への感染を防ぐため、マスクの着用を心がけましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュやハンカチ、咄嗟の場合は袖の内側などで口と鼻を覆います。



④毎日の健康管理

十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、元気に過ごせる生活習慣を整えましょう。また、日ごろから子どもの様子をよく観察し、発熱や咳、食欲の低下など、いつもと違う様子がないか確認することも大切です。

⑤予防接種

予防接種も大切な感染症対策です。感染症の発症や重症化を防ぐため、接種できる時期や回数を確認し計画的に接種しましょう。

▲利府町HP「予防接種」

▲利府町HP「子どもの定期予防接種」

問　子ども家庭センター　親子保健係　☎356-6771

年長児、9歳から12歳のお子さんの予防接種について

麻しん・風しん混合（MR）第2期

対象年月日	接種期限	ワクチンの効果
令和2年4月2日～ 令和3年4月1日生まれ（年長児）	令和9年3月31日まで （小学校就学前の1年間）	MRワクチンを接種すると約95%の人が麻しんと風しんに対する免疫を獲得するとされています。発症を防ぐだけでなく、感染した場合でも症状を軽くし、脳炎などの重い合併症のリスクを低減できます。また周囲への感染拡大を防ぐことにもつながります。

日本脳炎第2期・二種混合

予防接種の種類	対象年齢	ワクチンの効果
日本脳炎（第2期）	9～13歳未満	日本脳炎の罹患のリスクを75～95%減らすことができると報告されています。
二種混合 （3種混合第2期としてジフテリア・破傷風の混合ワクチン）	11～13歳未満	ジフテリアの罹患のリスクを95%程度に減らすことができ、破傷風に関しては100%近い方が十分な抗体を獲得すると報告されています。

※できるだけ早い時期に、忘れずに接種しましょう。　※接種期間および対象年齢以外の接種は、全額自己負担（有料）となります。
※接種には予診票が必要です。予診票は、対象年齢となった時期に町から配布しています。転入した方や紛失などで予診票がない場合は、お問い合わせください。

問　子ども家庭センター　親子保健係　☎356-6711